



# 子ども第三の居場所 「あそび～な」

NPO法人あそびあーとこども劇場いるま



# 目次

- 1.なぜ今、子どもの居場所が必要か
- 2.子ども第三の居場所助成金事業への取組み
- 3.西武明寿会憩いの家との出会い
- 4.異年齢の子どもたちがいっしょに遊ぶ
- 5.遊び場を通じて地域の人とのつながりを持つ
- 6.遊び心を活かせる場づくり
- 7.子どものやりたい気持ちをささえていく
- 8.プラットフォームでつながる



# NPO法人あそびあーとこども劇場いるま

この法人は、子どもの権利条約の精神に基づき、子どもと大人を対象に文化芸術体験活動をつくり出し、子どもが心豊かに育つ地域の形成に寄与することを目的とする。

# 1.なぜ今、子どもの居場所が必要か

地域のつながりは希薄化し、多くの子どもとその家族が孤立

コロナ禍、子どもたちの密になる体験の不足

子どもが人との交わりの中で健全に成長できるようにすることが必要



## 2.子ども第三の居場所助成金事業への取り組み

2021年11月日本財団の「子ども第三の居場所助成金事業」に応募

条件：日本財団×民間団体×行政

2022年3月に採択

2022年4月より「あそび～な」開設

236拠点（2024年9月末時点）

**開催日数：342日**

**参加人数：4983名**

2022.4～2024.11(32ヶ月)

# 3.西武明寿会憩いの家との出会い

地域資源の有効利用のモデル

多世代交流の足がかり

エアコン導入























## 4.異年齢の子どもたちがいっしょに遊ぶ

学校での関係性だけでなく関係性

多様性 自分も人と違うところがある、

他者から受け入れられるから他者を受け入れられる。











## 5.遊び場を通じて地域の人をつながりを持つ

四区納涼祭、地区体育祭

敬老会









2022



2023



2024





## 6.遊び心を活かせる場づくり

「遊んであげる」ではない場

駿河台大学スポーツ学部 スポーツ科学部実習について

「優しいアピールしなくていいよ」

「自分の欲望を無理強いするのはよくないよ」

「男のくせになんでピアスしてるの」











# 7.子どものやりたい気持ちをささえていく

遊びの道具と材料

ハロウィン・クリスマス会

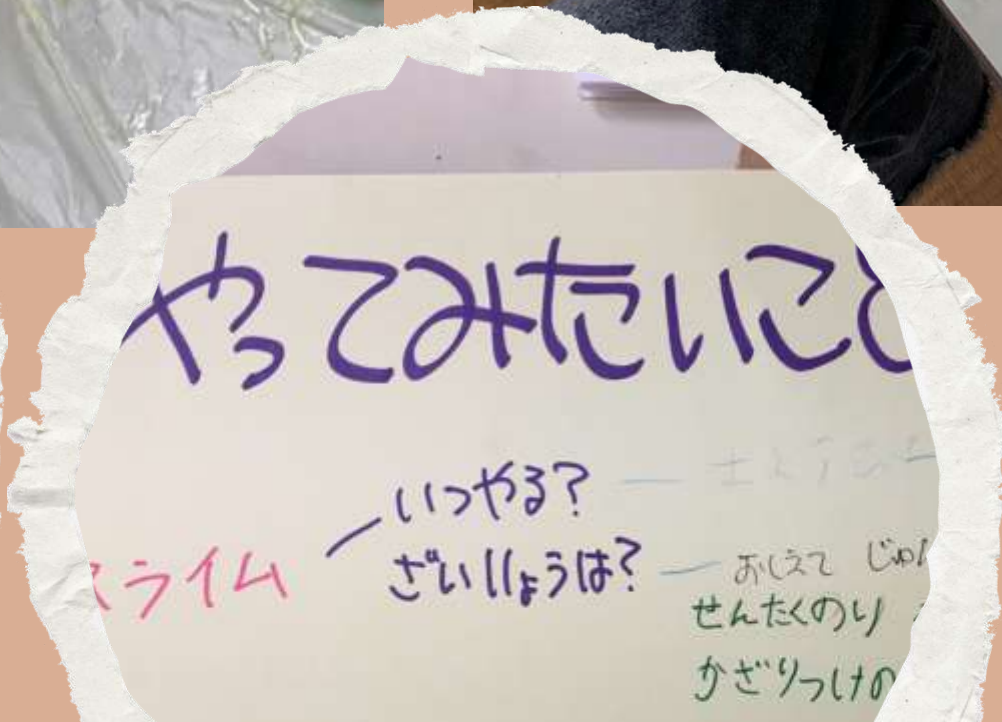


























## 8.プラットフォームでつながる

自治会、老人会、子ども会の新しい形

何か事を起こすときにできるつながりがたくさんあること

拠点としての役割





ありがとうございました